

指導部だより

指導部高等学校教育指導課 指導主事 福田 由紀子

平成 30 年 3 月 30 日付で告示された「高等学校学習指導要領」には、理数を学ぶことの有用性の実感や理数への関心を高める観点から、「日常生活や社会との関連を重視するとともに科学的に探究する学習活動を充実させること」、「必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて課題を解決するための統計教育の充実を図ること」、「将来、学術研究を通じた知の創出をもたらすことができる創造性豊かな人材の育成を目指し、新たな探究科目として「理数探究基礎」及び「理数探究」を新設したこと」などが挙げられています。

今回の改訂では、小学校と中学校・中学校と高等学校といった学校段階間の円滑な接続や、高等学校卒業以降の教育や職業との円滑な接続が求められるとともに、統計教育の充実が求められ、初等中等教育の一貫した学びが求められています。

このような国の動向を踏まえ、今年度、東京都教育委員会では、全ての都立高校が学習指導要領の改訂の基本的な考え方を踏まえつつ、生徒の多様な特性等に応じて適切な教育課程を編成できるよう、「東京都立高等学校教育課程編成基準・資料」の作成を開始しました。また、教育研究員の高校部会テーマを「これからの時代に求められる「資質・能力」を育むための授業改善と学習評価の充実」とし、どのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について研究・開発を進めていきます。更に、開発委員会の高等学校部会のテーマを「カリキュラム・マネジメントの視点に立った、各教科における「深い学び」を実現するための指導方法の開発」とし、教科横断的な視点をもって、習得・活用・探究という学びの過程を意識し、「見方・考え方」について研究するとともに、単元や題材のまとまりの中で指導内容に関連付け、学習活動の質を高め個々の能力を最大限に伸ばすための指導方法及び教材開発を行います。

今回の改訂では、引き続き理数教育の充実が求められており、都教育委員会では、理数系人材育成の拠点として、理数研究校24校、理数アカデミー校を1校を指定しています。理数系の新規事業として、理数研究ラボのうち、集中型コースでは2泊3日で筑波研究学園都市の大学や研究機関で研究体験活動を行い、通年型のコースでは月に1回程度、都内の研究施設等で研究体験活動を行います。また、首都大学東京と連携したIT人材育成事業「首都大学東京「理数研究ラボ」」を立ち上げ、首都大学東京の研究施設で行う高度な研究活動を通して、理数好きの生徒の更なる拡大を図っています。更に、新規事業として、東京都の理数教育を牽引する理数リーディング校を3校指定し、科学技術を支える人材の育成を図っています。秋には「科学の祭典」を開催し、高校生の科学的に探究する能力や態度を育むことを目指し、課題を解決する能力、論理的思考力、科学的な感性・創造性の育成に取り組んでいます。

都数研の皆様にも、学習指導要領に係る改訂の基本的な考え方について理解を深めて頂くとともに、文部科学省等の今後の動向を注視していただき、東京都の教育をさらに充実したものにさせていただくことを期待しています。

東京都教職員研修センターだより

研修部専門教育向上課 指導主事 平澤庄吾

教職員研修センターでは、算数・数学に関する研修講座を7講座実施し、東京都の算数・数学教育の更なる充実を図っています。以下に高等学校数学に関する研修を紹介します。

研修名【数学Ⅰ】

「数学的な見方・考え方を働かせ、

数学的活動を重視した授業づくり」

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指した授業づくりを学びます。

第1・2回 8月17日(金)午前・午後 <講義・演習>

教職員研修センター

第3回 9月～11月 午後 <授業研究>

研修名【数学ⅡA】

「生徒の学力定着を図る高等学校数学の指導の充実」

大学入試改革や学習指導要領を踏まえた数学の指導力向上を図ります。

第1回 8月23日(木)午後 <講義・演習>

教職員研修センター

研修名【数学ⅡB】都数研との連携研修

「高等学校数学に関する授業研究と講演会」

学習指導要領の目標を踏まえた多様な生徒の実態に対応した授業展開や指導の工夫について学び、指導力の向上を図ります。

第1回 6月7日(木)午後 <授業研究>

都立足立工業高等学校

第2回 7月5日(木)午後 <講義・演習>

千代田区立九段中等教育学校

第3回 11月 午後 <授業研究>

都立高等学校

研修名【数学Ⅲ】東京理科大学との連携研修

「数学に関する専門的な内容の理解の充実」

数学の専門的知識・理解を深め、学習指導要領で求められる資質・能力の育成に向けて指導力の向上を図ります。

第1・2回 8月28日(火)午前・午後 <講義・演習>

東京理科大学(飯田橋)

中央教育審議会答申においては、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養の三つの柱に整理するとともに、各教科等の目標や内容についても、この三つの柱に基づく再整理を図るよう提言がなされました。したがって、新たに示されました「高等学校学習指導要領」においても、数学科の目標及び内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理しています。

高等学校の先生方を対象とした研修においては、学習指導要領等改訂のポイントについて一層の理解を深める研修を実施します。

研修センターの研修を活用していただき、生徒の一層の学習意欲・学力向上等につなげていただくことを期待しています。